

洪水



雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある

記録的短時間大雨情報(佐賀県の基準:1時間に110mm)

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したときに佐賀地方気象台が発表します。この情報が発表されたときは、地域で土砂災害や浸水害、洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。特に土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域内にお住まいの方は、避難情報を確認し、速やかに避難してください。

氾濫の種類

外水氾濫

河川の堤防から水が溢れ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水すること。

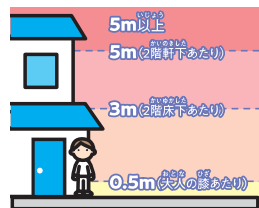


内水氾濫

堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨が排水処理できなくて引き起こされる氾濫。



想定浸水深の目安



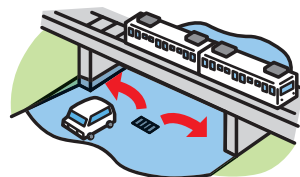
5m以上
5m(2階軒下あたり)
3m(1階床下あたり)
0.5m(大抵の壁あたり)

家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。

家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、日常生活に重大な影響がでます。

アンダーパス

鉄道の下など路面が低くなっているところは、雨水がたまりやすく、内水氾濫が発生するおそれがあります。

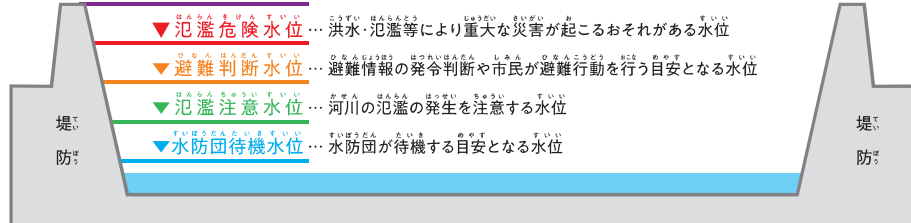


水位観測所と水位の情報



▼堤防を越える

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に市からの情報に注意してください。

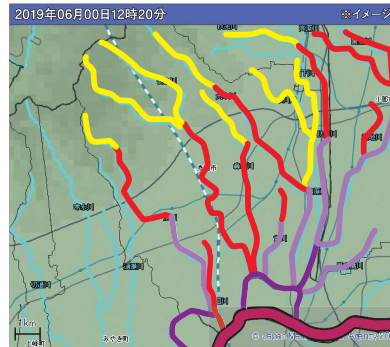


河川名	筑後川	宝満川	安良川	大木川	秋光川
観測所名	瀬ノ下	端間	幸津橋	酒井上橋	飯田橋
氾濫危険水位	7.10m	4.65m	3.24m	3.38m	4.00m
避難判断水位	6.80m	4.00m	2.86m	3.10m	3.40m
氾濫注意水位	5.00m	3.60m	2.00m	2.90m	2.60m
水防団待機水位	3.50m	2.40m	1.60m	2.40m	2.10m

洪水警報の危険度分布



中小河川の洪水発生危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの予測値を用いており(10分ごとに更新)、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



色が持つ意味	説明	市から発令される避難情報(目安)
極めて危険	過去の重大な洪水発生時に匹敵する基準をすでに超過。重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	緊急安全確保
非常に危険	中小河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性が高い状況。氾濫注意水位等を越えたら速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位を 超えたら 避難指示
警戒(警報級)	中小河川が増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性がある状況。水防団待機水位等を越えたら避難の準備をして早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位を 超えたら 高齢者等避難
注意(注意報級)	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

「極めて危険」(紫色)が出現した段階では、すでに氾濫して道路冠水等が発生し、避難が困難となっているおそれがあります。このため、遅くとも「非常に危険」(赤色)が出現した時点で、水位計や監視カメラ等で河川の現況も確認した上で、避難を判断することが重要です。また、洪水警報の危険度分布に関わらず、市から避難情報が発令された場合は速やかに避難してください。